

東北電力株式会社 女川原子力発電所
原子炉設置変更許可申請（1号，2号
及び3号原子炉施設の変更）の概要について

平成17年6月

経済産業省

1. 申請の概要

(1) 申請者

東北電力株式会社
取締役社長 幕田圭一

(2) 発電所名及び所在地

発電所名：女川原子力発電所
所在地：宮城県牡鹿郡女川町及び石巻市

(3) 原子炉の形式及び熱出力

形式：1号炉 濃縮ウラン，軽水減速，軽水冷却，沸騰水型
2号炉 濃縮ウラン，軽水減速，軽水冷却，沸騰水型
3号炉 濃縮ウラン，軽水減速，軽水冷却，沸騰水型
熱出力：1号炉 1, 593MW（電気出力 約524MW）
2号炉 2, 436MW（電気出力 約825MW）
3号炉 2, 436MW（電気出力 約825MW）

(4) 申請年月

平成16年12月3日（平成17年3月11日一部補正）

(5) 変更項目

1号，2号及び3号炉の不燃性雑固体廃棄物の処理方法に固型化処理を採用する。

なお，この変更に伴い，1号及び2号炉の放射性廃棄物の廃棄施設の構造及び設備のうち固体廃棄物の廃棄設備の記載を最新の記載形式に合わせる。

(6) 工事計画

項目	年度(平成)		2005(17)										2006(18)					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
不燃性雑固体廃棄物の固型化処理の採用に伴う工事				△ 着工														△ 竣工

(7)変更の工事に要する資金の額及び調達計画

本変更の工事に要する資金は約7億円である。

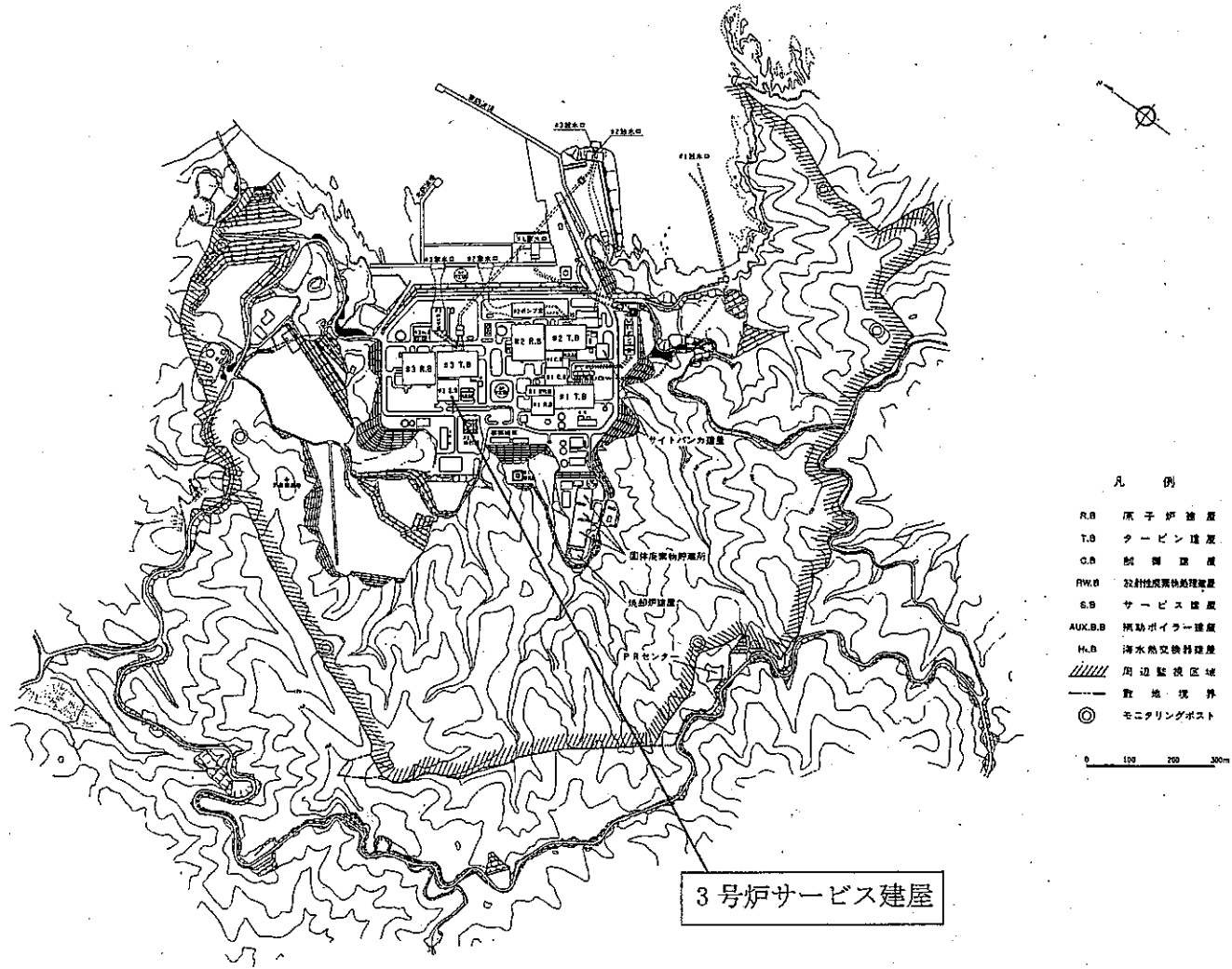
これらの資金は自己資金等により調達する。

2. 変更の概要

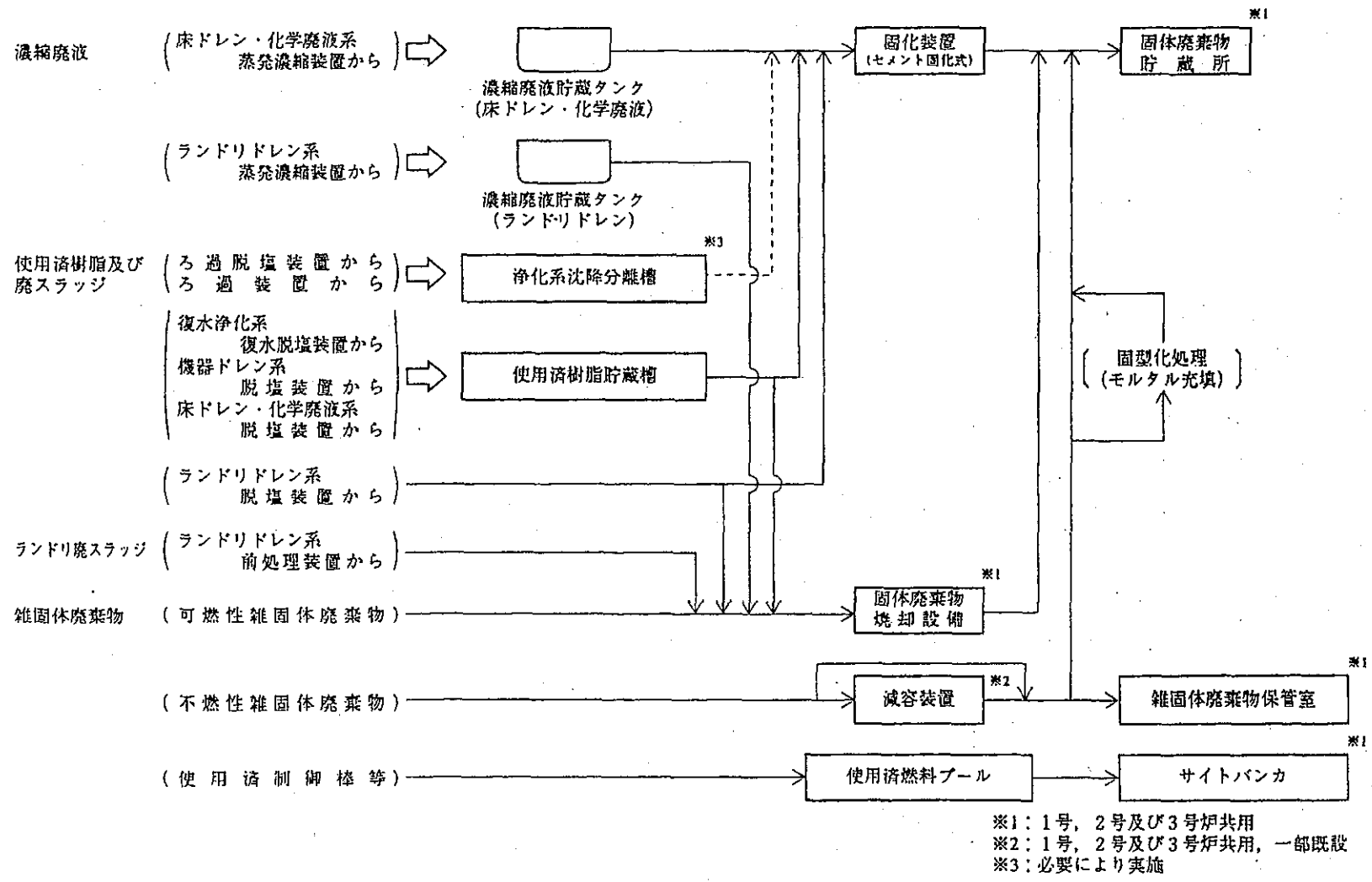
女川原子力発電所で発生する固体廃棄物のうち不燃性雑固体廃棄物の処理については、現状は圧縮可能なものは圧縮減容し、ドラム缶等に詰めて貯蔵保管しているが、これに加えて固型化材（モルタル）を充填してドラム缶内に固型化する処理を採用する。

なお、固型化処理は3号炉サービス建屋内の固化装置室で行う。

3号炉サービス建屋の位置を第1図に、固体廃棄物処理系の系統概要図を第2図に示す。



第1図 発電所の全体配置図



第2図 固体廃棄物処理系系統概要図